

県民の声等を取り入れた事業一覧

(令和4年12月1日～令和5年3月31日に受けた意見・提案)

(単位：千円)

意見、提案の概要	担当所属	反映・対応状況	事業区分	事業名	予算額 ※補正予算対応は「-」表示
返納者はタクシーを半額にしたり、公共交通機関は無料にするなどの対策を取ってほしい。	交通政策課	免許返納者に限らず、中山間地域を中心としたバス・タクシー事業者と住民ドライバーの協働型の交通システム構築や住民共助型の共助運送、市町村によるデマンドバス運行など、住民・地域・行政の共創によるコミュニティドライブ・シェアを推進します。	拡充	コミュニティドライブ・シェア(鳥取型ライド・シェア)推進事業	452,669
とっとり子ども救急ダイヤルに何度かけても繋がらない。回線が少ないのではないかな。	医療政策課	県民の声を踏まえ、令和5年4月より、電話回線数を増設(すべての時間帯で2回線)しました。さらに、令和6年4月から実施の小児医療費の完全無償化に伴うコンビニ受診等の懸念の払しょく及び小児救急医療体制のひっ迫回避を図るため、「とっとり子ども救急ダイヤル(#8000)」の相談受付時間を24時間365日に拡充します。	拡充	鳥取県小児救急電話24時間相談対応事業	29,885
リスクリングの取組を進めてください。	産業人材課	県内中小企業の将来的な成長を実現するために必要な人材育成を強化するため、地域のキャリアコンサルタント団体と(一社)鳥取県情報産業協会と連携し、企業訪問型のリスクリング支援を行います。あわせて、在職者向け公共職業訓練を拡充します。	新規	「リスクリング推進企業」拡大強化事業 [令和5年6月補正] 1,500千円	-
和牛を繁殖しているが、飼料や燃料費等の高騰に困っている。	畜産振興課	飼料価格の高止まりに加えて、和子牛セリ価格が下落し、和牛繁殖農家の経営が圧迫されていることから、令和6年度当初予算で対応することとしています。	新規	・和子牛価格緊急対策事業 ・和子牛飼料緊急支援事業	6,750 45,000
間伐材搬出等事業費補助金は県内間伐事業での最大の推進力ですが、需要減に輸送費を含む燃料費の高騰で明るい展望が開けません。	県産材・林産振興課	本事業に加え、林地残材の集積・搬出に伴う負担軽減として「林地残材対策事業」を令和5年度当初から措置しています。(森林づくり推進課) また、県産材・林産振興課では、皆伐材の円滑な集荷の環境整備支援として「皆伐材まるごと流通円滑化事業」を令和5年度6月補正予算で措置しました。	新規	皆伐材まるごと流通円滑化事業 [令和5年6月補正] 15,740千円	-

県民の声等を取り入れた事業一覧

(令和5年4月1日～令和5年11月30日に受けた意見・提案)

(単位：千円)

意見、提案の概要	担当所属	反映・対応状況	事業区分	事業名	予算額 ※補正予算対応は「-」表示
県東部、中部でJAのスーパーが一挙に廃店することになり、高齢者を中心とした買物難民を生み出します。官が経営に乗り出す第三セクター方式で営業してはどうだろうか。	買物環境確保推進課	県では、市町村が地域の買物環境の維持・確保につながる取組に対して支援を行う「買物環境確保推進交付金」を令和5年度に補正予算で創設し、令和6年度も引き続き拡充して行う予定です。 当該予算を活用し、県内市町村においても、若桜町や江府町のように行政が店舗を所有し、民間事業者等が事業実施を行うケースもでてきています。	拡充	みんなで支える買物安心確保事業	200,000
鳥取県版MaaSの進捗状況はどうなっているのか。やれるものは速やかにやってほしい。	交通政策課	JR、三セク鉄道、路線バスなどに乗車できる共通バスや鳥取駅南へのAIオンデマンド乗合タクシー導入などの実証を引き続き進める予定です。	拡充	鳥取型地域交通MaaS推進事業	32,677
・乗合バスについて、ICOCAの導入が必要に思います。 ・バスのIC導入をしてほしい。	交通政策課	令和7年春に予定されているJR山陰本線への交通系ICカード利用エリア拡大に呼応し、路線バスへの交通系ICカード導入に向けた検討を行います。	拡充	鳥取型地域交通MaaS推進事業(路線バスへのキャッシュレス決済(交通系IC)導入検討)	3,500
ライドシェア事業が解禁になる必要があると考えます。	交通政策課	中山間地域において、交通事業者と住民ドライバーの協働型として、タクシー事業者が運行管理行ったり、自家用車・一般ドライバーの環境整備に対する支援を進めていく予定です。	拡充	コミュニティ・ドライブ・シェア(鳥取型ライド・シェア)推進事業	452,669
「とっとり自転車旅」のマップに掲載されているルートの一部が通行止めになっている。そのことがわかるよう加筆すべき。	観光戦略課	県内のサイクリングルートや沿線の観光施設等の紹介をしている県ホームページ「とっとり自転車旅」において、岩美町西脇展望駐車場付近の通行止めについて案内していましたが、さらにホームページ上のマップの該当箇所をクリックすると、迂回路を反映したルートを確認できるようにしました。 また、新たに制作するサイクリングマップ(紙面、令和6年3月に完成予定)において、通行止め及び迂回路を掲載することに加え、令和6年度、様々な媒体で鳥取うみなみロードの魅力を発信する際には、通行止めの情報や注意を要する箇所等についても掲載し、利用者みなさまに周知を図っていきます。	拡充	サイクリストの聖地鳥取県整備事業(情報発信)	6,000
一般の方が手話を覚え、耳の不自由な方を理解、協力することも大切ですが、対面で行う手話でなくても、気づいたらお手伝いしていただけるよう普及してもらえたらと思います。	障がい福祉課	令和6年度はあいサポート運動15周年の節目の年を迎えることや、令和6年4月から民間事業者にも「合理的配慮の提供」が義務化されることを踏まえ、あいサポート運動を全県・全国に浸透させていく取組を一層加速させ、合理的配慮の地域実装を進め、真の共生社会の実現を図っていきます。	新規	「あいサポート運動2.0」事業 ※その他関連事業 あいサポート運動15周年記念「あいサポートとっとり祭」開催事業(34,441千円)	36,482
子育て世代へのサポートが弱い。岩美町はおむつ代金の還元等、積極的な子育て支援を行っている。県も、子育て世帯への支援をもっと行ってほしい。	子育て王国課	岩美町のおむつ支援の取組等の財源となる交付金など、市町村への財政的支援を継続するとともに、令和6年度に内容を拡充します。 また、子ども、若者、子育て当事者等から伺った意見を、令和5年度に策定する「シン・子育て王国とっとり計画(仮称)」に反映し方針を定め、子ども・若者の良好な成育環境の実現に向けた施策を市町村、地域や企業と連携して推進していく予定です。	拡充	子育て支援市町村応援事業	75,615
産後ケアについて、デイケア、ショートステイの利用基準のハードルが高いように思う。どんな環境の人でも気軽に利用できれば良い。	家庭支援課	支援を必要とする全ての方がためらわずに産後ケアを利用できるよう、利用料の無償化を継続するとともに、近くに産後ケア施設がない方が、自宅に近い施設で産後ケアを受けられるよう、県助産師会から当該施設に助産師を派遣する制度を新設します。	拡充	産後ケア無償化事業	6,000
「食のみやこ」から「食パラダイス」に移行したり、コンサルタント的な多くの外部専門家に頼った鳥取県の販路促進施策に疑問を感じる。もっと一貫した施策が必要ではないか。	販路拡大・輸出促進課、食パラダイス推進課	鳥取県では、新たなブランド戦略「食パラダイス鳥取県」を立ち上げ、本県の“食”を様々な産業や地域との連携により磨き上げ、国内外に積極的にアピールし、販路拡大、誘客促進、食文化育成などを推進し、本県の“食”のステージアップを図ってきました。今後も、本格的な展開を図るため、“食”の魅力発信、県産品のブランド力強化、販路開拓の推進、国内外からの観光客へのおもてなし体制の強化を図ることとします。 県外での販路開拓施策については、食や情報発信などの外部の専門家の意見を取り入れつつも、一貫した方針の基、地域や生産者の取組を支援するとともに、県産食材の魅力発信や販路拡大などを進めることとしています。	新規	世界に誇るべき「食パラダイス鳥取県」推進事業	290,000